

会員さんこんにちは

矢守 豊次

五個荘商工会の一大イベント「このしょう新近江商人塾」が始まって二年が経過しました。初めは勉強会から始まった事業もイベント化し現在では全国各地から観光客が来られます。その本拠地として場所を提供していただいているのが金堂地区です。近江商人が活躍した当時の雰囲気をつつと保存されておられる住民の方々には頭が下がる思いがします。特にイベント当日は騒がしい一日になり、また住民の方々には観光客によるプライバシーの侵害も懸念される事態ですが、積極的に協力を頂いているのが現状で、ありがたいことです。

私は、五個荘で生まれましたが、一時、五個荘を離れ

十年前に約二五年ぶりに縁あって戻ってきました。年に一、二度は実家へ帰ることがあつても、金堂や川並等に行くことはありませんでした。他の地区では新しい建物や新しい道が出来風景が変わってしまつているところもあり、戸惑つたものでした。しかし、金堂を訪ねてほつとしたことも思い出されます。中に住んでいるとなかなか気が付きませんが外から見ると良さが分かつてくることもあります。「みちくさ」で休憩しているときに、県外から来られた観光客と話をしたときに「ここへ来てやつと本物に会えた」と言われたことがあつた。

長浜、彦根へ行つてきたが後で造られたものばかりで趣がなかった。「ここには本物がある」胸を張って威張れると思う。



塚本 淳之助

「まちなみニュース」への寄稿にあたり、数年前に京都のある団体に依頼され、子供の頃の生活を綴って寄稿した事を思い出しました。タイトルは「香りのノスタルジ」だったと記憶しています。要旨は、つぎのようなものでした。

「金堂の町並みは、華麗というより落ち着いて、どつしりとした味わいのあるたたずまいである。……」

弘誓寺の境内や大城神社の杜は冒険心をそそる子供の格好の遊び場であり、木から木を伝い、鎮守の森をほぼ半周した。陽が沈むまで小学校でゴム飛行機を飛ばし、腹べこになり家路につく頃は、開けっ放しの家々からは、晩御飯を作る良い匂いが道にまで漂ってきた。などなど思い出

出を綴りました。

「昭和三十年前後の貧しい生活の中で、慶事や祭りのご馳走にしか食べられなかった牛肉のすき焼きの(あしらい)に豊かな香りの川芹を湧き水のきれいな川に親父と摘みに行った思い出」といった内容だったと記憶しています。近江商人屋敷や神社・仏閣、は今もその当時と変わらず私原風景となっておりますが、環境の変化は著しく「まくわ」や「トマト」を冷やしたきれいで冷たい湧き水も今はなく、香りの高い川芹もありません。町並みの保存と共に人情、自然もあの頃のままであつてほしいものです。



「まちづくりのあゆみ」発刊



みなさんのお手元にも、「五個荘金堂まちづくりのあゆみ」が届きましたでしょうか。市の平成二十年度いきいき市民活動事業補助金から、発刊事業費の約五分の一をいただき、昨年七月から編集委員会を立ち上げ、十二名の委員で取り組んできました。伝建地区に選定されてから十年が過ぎましたが、選定までの歩みや当時の思いを残したい、地区内外の方々の今の思いを知りたい、そして、町並みだけでなく、もつと金堂の魅力を掘り起こしたい、そんな気持ちがいっぱい詰まっています。多くの方々に見ていただけることを願っています。

(柴山直子)

先進地視察研修に参加して

昨年の十二月九日、保存会主催による先進地視察で、富田林市のじないまち交流館と、泉佐野市の泉佐野ふるさと町屋館を訪れました。

じない町は、十六世紀末に寺院を中心にして町割が作られ、堀等で町全体を防御してできた地内町として成立し、



その後、江戸中期までに周辺地域の商業の中心地として発展したとのこと。保存地区には、寺内町形成から近世の商業中心の町へと発展する市街地形態がよく残されていて、平成九年に重伝建保存地区に選定されています。

交流会館では、伝建地区の現状についてお話を聞き、若い世代や家族層が住みたくないまちづくりを目指されている熱い思いが感じられました。

午後からは、泉佐野市の旧市街地にある泉佐野ふるさと町屋館を訪ねました。自然発生的に成立・拡大した同地区は、城下町や寺内町のよくな直線で幅広い道とか方形の屋敷等が配置されているわけではないのですが、数多くの伝承や他の

楽しかった、7班の新年会



七班では例年の一月に、班の人たちで、どこか料理屋へ行き楽しく過ごしていました。しかし昨今の社会情勢のことを考えると、なかなかそうはいきません。

そこで話が出てきたのが、金堂まちなみ保存交流会館を使用させて頂く方法です。すぐ許可をいただき、実施日は一月三十一日と決め、班の方に案内すると一八名の方の参加がありました。

当日参加される方は、皆さ



(関谷鐵志)

な日でした。宴会は一八時に開会しました。よく考えると次の日は雛祭りのイベントの初日で、館内は準備も終わり花のお雛様で美しく飾られてあり、お雛様の前での宴会で非常に幸運な日でした。

来年も、金堂まちなみ保存交流会館が使えるようにと思いをしました。